

敬和創



上田市立第六中学校
学校だよりNo.3
令和5年6月30日



第62回長野県総合体育大会夏季大会東信地区予選会結果

男子バスケットボール部 東信ベスト8	☆予選リーグ2位で決勝トーナメント出場 対小諸東中 ●55-73 対二中○52-41 ☆決勝トーナメント 対塩田中 ○45-42 *ラストのブザーで3Pシュート、劇的勝利! 対軽井沢中 ●62-48 惜敗
女子バスケットボール部	☆惜敗 予選リーグ敗退 対佐久東中 ●26-78 対一中●33-47
男子バレーボール部	☆春季大会結果 6位で東信大会本大会へ出場 ☆予選リーグ グループ3位 惜敗 対佐久穂中 ●1-2 対塩田中●0-2 対芦原中○2-0
女子バレーボール部	☆惜敗 予選リーグ敗退 対中込中 ●0-2 対北御牧中 ●0-2 対望月中●1-2
軟式野球部 東信ベスト16	☆東信大会1回戦 対北御牧中 ○8-7 ☆2回戦 対佐久東中 ●0-8 惜敗
サッカー部 東信大会優勝 県大会出場	☆予選リーグ1位通過 決勝トーナメント出場 対臼田中 ○4-0 対佐久東中 ○3-0 ☆決勝トーナメント優勝! 対丸子中 ○4-0 対丸子北・依田窪南部 ○4-0 対南佐久合同チーム○3-0 対四中○1-0
男子ソフトテニス部	☆団体戦 惜敗 予選リーグ敗退 対丸子北中 ●0-3 対丸子中 ●0-3 ☆個人戦 2つのペア ベスト64
女子ソフトテニス部 団体・個人で県大会出場	☆団体戦 5位 予選で負けた東部中にリベンジ勝利 対浅間中 ○2-1 対佐久穂中●1-2 対小諸東中 ○2-0 県大会出場決定 対東部中 ○2-1 (5,6位決定戦) ☆個人戦 1ペア→ベスト8で県大会出場 2ペア→ベスト64
剣道部 団体戦男女共にベスト8	☆男子団体戦 対二中 代表戦で勝利 対四中 一本差で惜敗 ☆女子団体戦 対佐久長聖中 代表戦で惜敗 ☆個人戦 1名 ベスト32 2名 ベスト16
水泳部 25日【日】 アクアウィング	☆3年 100mFly 1.19.89 4位 ☆2年 100mFly 1.27.97 7位 ☆2年 50mFr 31.55 6位 県大会出場 100mBa 1.27.50 2位 県大会出場 ☆男子4×100FrR 5.03.18 4位 ☆男子4×100MR 5.44.56 4位
陸上競技	☆男子2年 100m 12秒49 7位 県大会出場 ☆男子2・3年1500m 4分43秒66 3位 県大会出場
バドミントン	☆女子ダブルス 2年女子 五中生のペアと 7位 県大会出場 ☆男子シングルス 2年男子 5位 県大会出場 2年男子 ダブルス3回戦敗退 2年男子 シングルス 2回戦敗退

これまで語り尽くせぬドラマがあったことでしょう。保護者の皆様、応援ありがとうございます！

4年ぶりに響いた全校のエール 3年生の勇姿!~6/9 東信大会壮行会



☆6月校長講話「幸せとは」～人権教育旬間によせて



「幸せとは」について話しをします。辞書で調べてみると、
幸せの意味は大きく分けて2つありました。

1 運がよいこと。2 その人にとって望ましいこと、不満がないこと。幸せとは、何でしょうか。あなたが幸せだと感じる瞬間を思い出してください。少し時間を取ります。

大金を手に入れたとき。欲しい服を買ったとき。最新の電子機器を手に入れたとき。大金や欲しいものを手に入れたときに「幸せだ」と考えた人も多いことでしょう。たしかに物質的な豊かさは、幸せの1つです。しかし、本当の幸せかという、疑問が残ります。物質的豊かさによる幸せは、一時的です。手に入れた瞬間は喜びを感じますが、すぐに慣れます。また、手に入れたときの幸せには、深い満足感が伴っていません。物は、人を本当に幸せにはしないのです。深い満足感があってこそ本当の幸せです。

では、本当の幸せとは何でしょうか。精神的な豊かさなのです。愛情、愛着、友情などです。人とのつながりを通して得られる心です。幸せは、心で感じるものです。心があってこそ、本当の幸せを感じます。人とのつながりを通して得られる心に触れたとき、人は深い満足感を抱きます。人から慕われたり、愛されたり、尊重されたりするとき「幸せだな」と感動し、深い満足感が得られるのです。

5月6日から人権教育旬間が始まり、学級や学年でも学習が進んでいます。24日～30日までは、生徒会で「黄色いリボン週間」が行われました。黄色いリボン宣言を読み合わせ友だちの良い面を見つめ合うことができました。さあ、今一度、自分の生活をふり返りましょう。家族や友だちや学級、学校の幸せを考え、行動することによって自分自身も幸せになれると思います。自分自身ができることを考えて実行してみてください。

☆授業参観,PTA 講演会ありがとうございました

坂井さんのお話を聞いてよかったです。見えない≠いない、という言葉が刺さりました。自分の中の多様性に気づききっかけが「性」なのだということでした。自分らしさを閉じ込めるのではなく、美しく花開かせるきっかけとなる六中時代であってほしいと願います。先生方も楽にどうぞ！

～2学年保護者様の感想より～

性の多様性について語ってくださった坂井真琴さんの講演



○連絡：講師の先生として働いてみませんか

現在上小地区では、講師の先生として勤務される方を求めています。教員免許をお持ちの方で、学校勤務に関心のある方がおりましたら、学校までお声がけいただくか、ご紹介くださいますようお願いいたします。